

練馬・文化の会 会だより

共同代表：有原誠治 大内要三 小岩昌子 小沼稜子 田場洋和 吉田巳蔵
事務局：森田彦一 TEL：03-3951-4276 FAX：03-3951-0616

(会費などの郵便振替：00150-7-130265 練馬・文化の会) ホームページ <http://www.nerimabunka.com/>

◇ ねりま沖縄映画祭のフィナーレは美しい辺野古の自然に焦点あてた作品 ◇
10月12日(金) 午後6時45分～大泉“ゆめりあ”の
「ZAN・・・ジュゴンが姿を見せるとき」を視よう!

本年のねりま沖縄映画祭も日程半ばを越えました。おかげさまで『米軍が最も恐れた男 その名はカメジロー』をはじめ、上映作品はいずれも好評を博しております。

9月30日に投開票された沖縄県知事選挙で、翁長前知事の遺志を継ぐ玉城デニー新知事が誕生いたしました。官邸を先頭に、自民・公明、日本会議、ネット右翼などが総力をあげて沖縄に襲いかかった選挙でしたが、沖縄の人びとはその民意を改めて、本土の人たちに示したといえましょう。

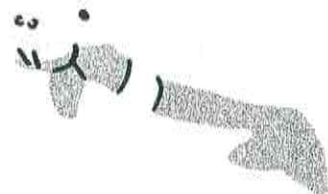
歓びと感激の余韻が残るこの時期に、みなさまにぜひご鑑賞いただきたい映画『ZAN・・・ジュゴンが姿を見せるとき』を、改めてご案内させていただきます。とにかくとにかく映像が美しいんです。

作品は、この映画のプロデューサーでもある木佐美有さんがジュゴンを探して沖縄を旅し、辺野古・大浦湾にたどりつくというストーリーで構成されています。ジュゴンとはどのような生物なのか、人びとはどのようにジュゴンと向き合い暮ら

してきたのか、巨大な軍事基地建設のために埋め立てられようとしている辺野古・大浦湾の生物多様性あふれる自然の豊かさ…時間を忘れさせる美しい映像をひと

りでも多くみなさんに観てほしい…こんな思いでセレクトさせていただきました。今年の映画祭のフィナーレを飾るにふさわしい作品です。上映後、北アイルランド出身のリック・グレハン監督と木佐美有プロデューサーのトークも予定しています。

会場を大泉学園駅北口のゆめりあホール(170名)に用意させていただきました。10月12日(金)18時45分、会員のみなさまをはじめ、一人でも多く、そしてたくさんみなさまのご来場を実行委員一同、心からお待ちしております。よろしく願いいたします。(横山哲也; 下石神井在住)



9月22日武蔵大学でスタートした(第3回)ねりま沖縄映画祭;
「カメジロー」に300名超す参加など、これまでにない集客力を発揮

第3回ねりま沖縄映画祭は合間に9月30日の沖縄知事選を挟むなどのハプニングをかかえながらすでに半分以上の日程を消化しました。おかげさまで、2回上映した『米軍が最も恐れた男 その名はカメジロー』の集客が300名近かったのをはじめ、各回ともほぼ会場が満杯となる盛況ぶりが示されています。特に9月30日にココネリ研修室で行われた「ゆんたんざ沖縄」の上映では、参加者がトークを行った小室等さんの送迎をかってでるなどのハプニングも生まれ、知事選の開票状況の実況も盛り込まれ、「玉城デニー当選」を参加者全員

でお祝いするという盛り上がりがありました。

さらに10月4日の日大での「オキナワの少年」上映会は120名の席が満杯となり、主催者自身が客の多さにビックリするという状況でした。この作品の場合、最近には珍しく35ミリ作品の操作が求められましたので、日大芸術学部側などの多大な協力があり、裏方スタッフの奮闘ぶりが偲ばれました。ともかく各回とも主催者側の奮闘もめざましく、次回「会だより」では参加者のアンケート回答の分析を含め、臨場感あふれるレポートをお届けしたいと思っています。(田場・記)

“オール沖縄”でデニー勝利——沖縄現地で支援して
局面を大きく切り拓いた故翁長知事の妻樹子さんの訴え

日本の未来を左右する天下分け目の闘いと言われた“沖縄知事選”は、玉城デニー氏の勝利で終わった。

私は、20日から26日まで那覇市内で玉城デニーの勝利のために支援活動した。安保破棄沖縄統一連に身を置き、連日、街頭に立ち、全戸配布をし、

ピラ折りをした。

ともかく沖縄の選挙戦は、東京では選挙違反と言われているのが、ほとんどとがめられない。のぼり、ポスター、連呼、個別訪問とこれだけでいいといわれるほど、自由だ。中でもひどいのは、企業、団体の締め付け、有権者が投票したかを確認するために、毎日自民党本部に連絡することはもちろん。ひどいのは、写メールで佐喜真候補に書いたかどうかを送るように通達。締め付けた。

最初は互角か、やや厳しいといわれていた選挙戦であったが、この流れを大きく変えたのが、22日(土)新都市公園で開かれた「玉城デニーうまんちゅう大集会」であった。始まった4時にスコールが起こり、びしょ濡れになりながらの集会であったが、8000人が一人も動くことなく、むしろ時間を追う如く増えるという状況の中で、

圧巻は故翁長知事の妻樹子さんの涙の訴えであった。

自民、公明の全力を投入しての沖縄つぶしに「翁長が、もう仕方がないな、みんなで頑張らないといけないから君も一緒になって頑張っておいで、と言ってくれたようで、翁長が命がけで守ろうとした沖縄を、デニーさんが継いでくれるのだと思ったら涙が止まりませんでした。私たちの心の中をすべてさらけ出しでも、マグマを噴き出させても勝利を勝ち取りましょう」と訴えた。「翁長知事の遺志を継ごう」これで流れが変わった。この時点で私は勝利を確信した。最終的には期日前投票も、デニー陣営も積極的に行い、中核都市の那覇市、名護市で圧倒的な差をつけた。安倍政権の野望を沖縄県民および、全国の支援者が打ち破ったと言えよう。

(練馬・文化の会事務局長：森田彦一)

大内要三さんの連続講座「日本の安全保障政策を考える」がスタート

第2回は10月27日(土)午後6時～、第3回は11月17日(土)午前10時～
ともにココネリ研修室で実施へ 資料代300円

当会の共同代表：大内要三さんによる連続講座「日本の安全保障政策を考える」が9月30日、区役所19階の1902会議室で行われた「朝鮮戦争が終わると日本は平和になりますか？」の第1回講座をもってスタートしました。この第1回講座は10ページに及ぶレジュメをもとに話され、特に日本のマスコミがほとんど報じていない韓国のろうそく革命などの民主化の経緯などが詳述されたのが印象的でした。また質疑では、朝鮮半島両国、日米の経済発展の問題、拉致問題と

戦前の日本の植民地支配の関連などビビットな論点が触れられ、大内さんの丁寧な解説があり、大変有意義な講座になりました。

同封したチラシにありますように、第2回講座が10月27日(土)午後6時から、第3回講座が11月17日(土)午前10時から組まれました。ココネリの会議室の確保が思いにまかせず、夜、午前という時間帯になりましたが、会員の皆さまの積極的なご参加をお願い申し上げます。

(田場・記)

いわさきちひろを描いた『ちひろー私、絵と結婚するのー』のお誘い

ちひろ練馬実行委員会 実行委員会料金 6,000円

開演時間：11月12日(月)午後3時、13日(火)午前11時と午後3時、14日(水)13時

劇団前進座の『ちひろー私、絵と結婚するのー』の公演が、練馬を皮切りに12月まで各地で行われます。ご存じのとおり「ちひろ」さんは一人の絵描きとして、平和と子どもたちの幸せを願いながら絵筆を握る生き方をこの練馬で見つけ出し、そして多くの時間を練馬で過ごしました。

是非とも、この練馬での初演を成功させようと練馬の諸団体(練馬・文化の会も参加)と個

人からなる実行委員会を発足し、普及に努めています。

ついては、そんな「ちひろ」さんを描いたお芝居を、一人でも多くの皆さまに観劇して頂きたいとお誘いします。皆様には大変お忙しい中とは存じますが、よろしくお誘いします。

○連絡先 田場：090-3238-9348

中村：090-9104-4627